



# ほつた市

# 議会だより



## 平成26年3月定例会

平成26年第1回臨時会 .....	P2
提出議案と審議結果 .....	P2～3
平成26年第1回定例会 .....	P3～6
予算特別委員会 .....	P7
主な討論／各議員の賛否／欠席者 .....	P8～9
会派代表者質問 .....	P10～11
<b>ここが聞きたい！</b> 一般質問 .....	P12～16
主な議会の動静 .....	P17
議員研修 .....	P18
委員会活動報告 .....	P19
<b>傍聴者の声</b> 6月定例会の予定 .....	P20



## 今日から小学生

～お兄さんお姉さんに見守られて～

青柳小学校入学式  
(新入生 11 名入場)

# 平成26年第1回臨時会

〈本会議〉  
2月12日

## 主な質疑

### 損害賠償の額の決定及び和解について

#### ●提案趣旨

平成25年10月16日の台風26号により、大竹及び安塚地内で発生した損害賠償事  
故について、相手方との協議が整ったため、損害賠償の額を定めて和解する。

#### 問

同じような災害が  
起こって、また補  
償することがあつては困  
るので、今後の対策につ  
いて伺います。

物の維持管理に努めてい  
きます。

また、構造物の点検、

清掃、修繕等を行うとと

もに、土地改良区と協議

して、対応できるものは

早急に取りかかります。

また、出水時の対策と

して、災害協定を締結し

ている建設業協議会に早

い段階から協力を要請し、

水害に備えたいと考えて

います。

#### 答

【大竹海水浴場…ク  
ラブハウス兼倉庫】

災害が起きる前に、所  
有する建物の定期点検を  
実施し、メンテナンスや  
修繕等を行うことで、建

含めて、この辺一帯の雨  
水等を分散するために、

田中川への排水を検討し

ます。喫緊の対策として

は、建物のかさ上げが一

番効果的と考えています。

## 提出議案と審議結果

◎ 全員賛成  
● 賛成多数  
● 賛成少数

### 平成26年第1回鉾田市議会臨時会

#### 平成25年度補正予算

- ◎ 鉾田市一般会計補正予算(第8号)
- ◎ 鉾田市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

#### 損害賠償・和解

- ◎ 損害賠償の額の決定及び和解について(3件)

#### 財産の取得

- ◎ 財産の取得について

#### 議員提出議案

- 鉾田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について

#### 平成26年度予算

- 鉾田市一般会計予算
- 鉾田市国民健康保険特別会計予算
- 鉾田市後期高齢者医療特別会計予算
- 鉾田市介護保険特別会計予算
- 鉾田市農業集落排水事業特別会計予算
- 鉾田市公共下水道事業特別会計予算
- 鉾田市水道事業会計予算

### 平成26年第1回鉾田市議定会定例会

#### 条例・規則の一部改正等

- ◎ 鉾田市安全な飲料水の確保に関する条例の制定について
- ◎ 鉾田市給水条例の一部改正について
- ◎ 鉾田市職員の修学部分休業に関する条例及び鉾田市職



# 平成26年第1回定例会

〈本会議〉  
3月4日～20日

## 主な質疑

### 鉾田市立学校設置条例の一部改正について

#### ●主な改正内容

現在進めている統合小学校を建設するにあたり、別表に次の字句を加える。

小学校の名称	鉾田市立鉾田北小学校
位置	鉾田市上富田1011番地1

#### 問

鉾田北小学校を設置するということ

ですが、この名称に至る

までの経緯等について説

明願います。

了承し、9月9日から10月18日にかけて、校名の募集をしました。

開き、総務部会からの報告のとおり、鉾田北小学校で決定しました。

#### 答

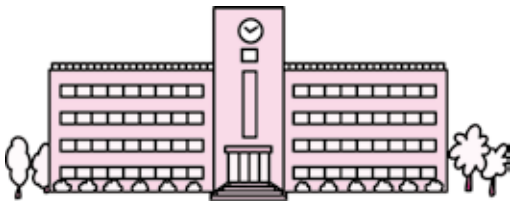
平成25年6月に第1回総務部会が開

かれ、統合小学校の名称等についての募集要項案を作成し、応募用紙等を配布することを決定しま

した。8月の北中学校区小学校統合推進委員会で

2回総務部会を開き、応募総数283人中、119名の方が鉾田北小学校という校名を選んでおり、一番混乱のない名称ということで、総務部会では鉾田北小学校という校名になりました。

12月19日に北中学校区小学校統合推進委員会を



- 員の高齢者部分休業に関する条例の一部改正について
- 鉾田市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 鉾田市手数料徴収条例の一部改正について
- 鉾田市道路路占用料徴収条例の一部改正について
- 鉾田市立学校設置条例の一部改正について
- 鉾田市社会教育委員に関する条例の一部改正について
- 鉾田市青少年問題協議会条例の廃止について
- 鉾田市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について

#### 平成25年度補正予算

- 鉾田市一般会計補正予算（第9号）
- 鉾田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 鉾田市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 鉾田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）
- 鉾田市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）
- 鉾田市水道事業会計補正予算（第3号）

#### 訴えの提起

- 訴えの提起について（3件）

#### 人事

- 人権擁護委員の推薦について（常磐 富田 泰
- 人権擁護委員の推薦について（荒地 柳瀬 房男）

#### 議員提出議案

- 鉾田市議会会議規則の一部を改正する規則について

#### 委員会の設置

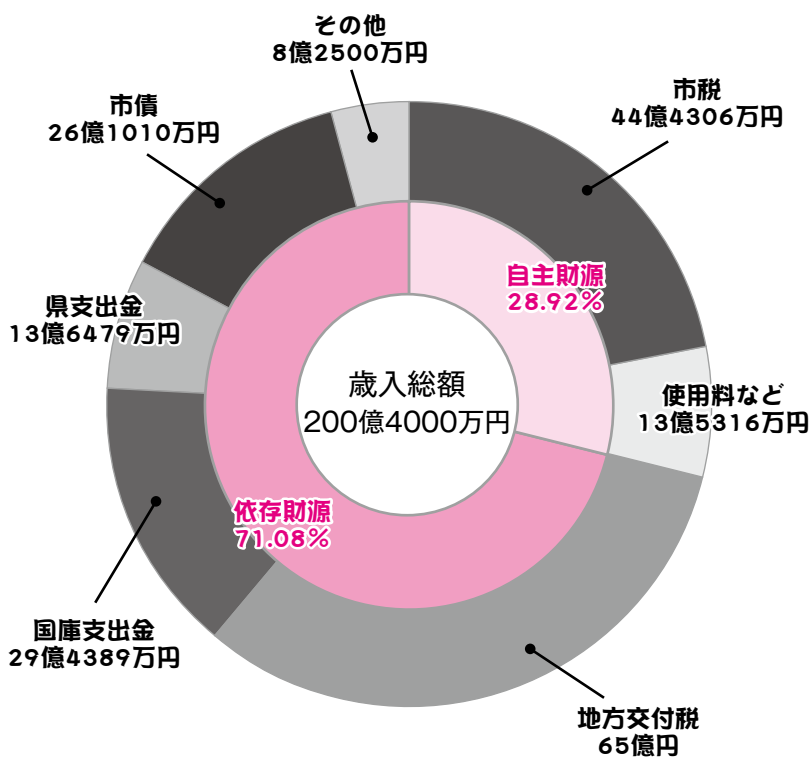
- 予算特別委員会の設置について

#### 決議

- 議長不信任の件について

# 一般会計は200億4000万円

## ■平成26年度 一般会計歳入歳出予算の内訳



### 主な歳入 (財源)

- 市税  
市民税や固定資産税などの税金
- 使用料など  
公共施設の使用料や、住民票等の交付手数料など
- 地方交付税  
行政運営のために国から交付されるお金
- 国県支出金  
市が行う事業に対して国や県が負担するお金
- 市債  
道路や学校などの公共施設を整備するため市が借り入れるお金

平成26年度の銚田市における地方消費税交付金のうち社会保障財源化分は7400万円と見込まれています。

※消費税率等引き上げ分の地方消費税収は社会保障施策に要する経費に充てられます

## 予算総額は 352億7612万円

### ◆平成26年度各会計予算

会計名	予算額	前年度予算額	前年度比	
一般会計	200億4000万円	186億6000万円	7.4%	
特別会計	国民健康保険	78億8293万円	78億2218万円	0.8%
	後期高齢者医療	4億4184万円	4億3368万円	1.9%
	介護保険	40億6758万円	36億6255万円	11.1%
	農業集落排水事業	5億1151万円	4億5425万円	12.6%
	公共下水道事業	4億2268万円	6億612万円	△30.3%
水道事業会計	19億958万円	15億6445万円	22.1%	
合計	352億7612万円	332億323万円	6.2%	

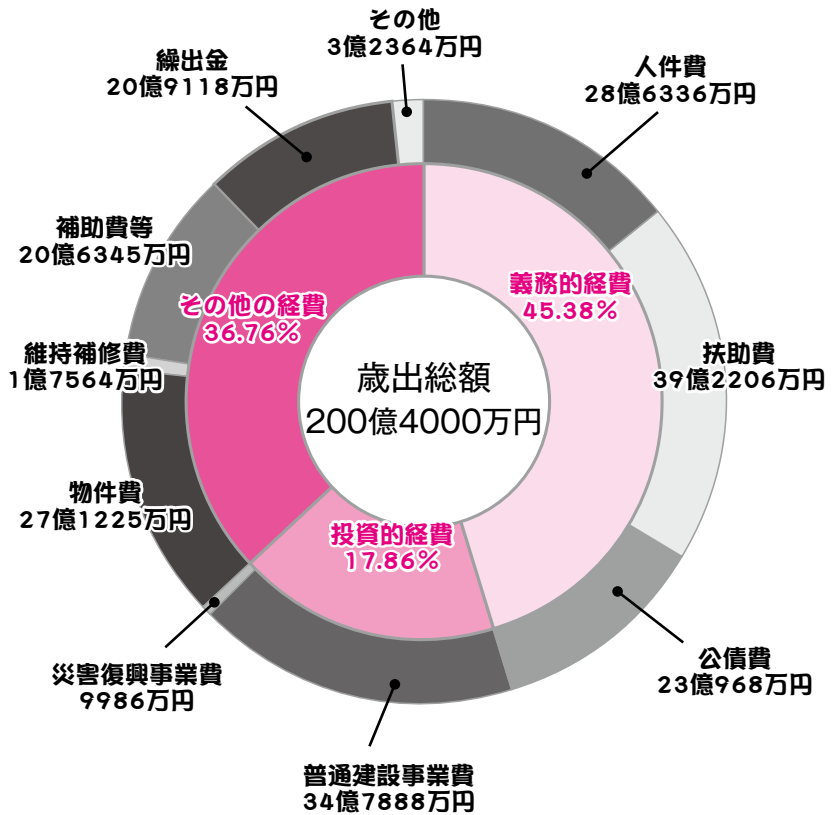


# 平成26年度予算を審議

『復興から飛躍へ』をテーマに 銚田市発展に向けたまちづくりを進める

## 主な歳出（経費）

- 人件費  
職員の給料や議員報酬など
- 扶助費  
生活保護費や児童手当など
- 公債費  
市が借りたお金（借金）とその利子などを返済するための経費
- 普通建設事業費  
道路の新設や学校の建設などの建設事業に要する経費
- 物件費  
職員旅費や備品購入費、委託料など
- 補助費等  
各種団体への助成金や一部事務組合への負担金など
- 繰出金  
一般会計、特別会計、基金の間で、相互に資金運用するための経費



## 新年度の主な事業

- ▽銚田北中学校校舎改築事業 14億6098万円  
老朽化が激しく耐震性にも不安があることから、校舎の改築工事を行う
- ▽銚田北中学校区統合小学校整備事業 4億8577万円  
銚田北中学校区統合小学校校舎新築工事を行うとともに、銚田北中学校区小学校統合推進委員会並びに専門部会を開催する
- ▽銚田南中学校区統合小学校整備事業 25万円  
銚田南中学校区小学校統合に関する検討会議を開催する
- ▽市道整備事業 8億9906万円  
合併特例債などを活用し、狭隘な幹線道路の整備を行う
- ▽（仮称）銚田市民交流館整備事業 43万円  
施設建設基本計画をもとに、市民説明会を開催する
- ▽医療福祉単独事業 3290万円  
中学校3年生まで医療福祉費支給制度（マル福）の対象者を拡大する
- ▽がんばる商店支援事業 100万円  
震災により活気が失われた商工業者が、新たに意欲的に取り組む事業に対して補助金を交付する
- ▽ラムサール条約登録推進事業 33万円  
涸沼のラムサール条約への登録に向け、行政・団体・地域住民等が一体となって、意識の高揚と気運の醸成を図る
- ▽茨城国体開催準備事業 6288万円  
平成31年開催の茨城国民体育大会に向け、本市の開催競技である山岳競技を広く市民にPRし、競技自体の認知度を高める



## 主な質疑

議案第1号  
平成26年度鉾田市  
一般会計予算

**問** がんばる商店支援事業について、どのような事業なのかお尋ねします。

**答** この事業は市内商業を振興及び活性化を図るため、市内で商業等を営む方などが新たに取組む意欲的かつ経済性のある事業のソフト面に要する経費の2分の1以内で最大20万円を上限に予算の範囲内で補助金を単年度で交付するものです。予算額は、事業者支援事業補助金として100万円を計上しました。



**問** 平成25年度に実施した次世代育成支援対策緊急強化事業が今年度は予算計上がないようですが、どのようなになっているのか伺います。

**答** 次世代育成支援対策事業については、その事業を引き継ぐ事業として子ども・子育て支援事業を平成26年度当初予算に計上してあります。

児童虐待防止対策強化事業については、県の安心子ども支援事業を活用した事業でしたが、平成26年度においては県が実施されないことから予算計上は行っていません。児童虐待に関する事務事業については引き続き行っていきます。



**問** 緊急雇用創出事業臨時特例基金や安心子ども基金について、本年度どのような活用を見込んでいるのかお尋ねします。

**答** 緊急雇用創出臨時特例基金、安心子ども基金については、国からの交付金を財源に都道府県で基金を造成して実施しているものです。本市においては、緊急雇用創出臨時特例基金については、社会福祉費の中の住宅支援給付金に105万4000円の活用を考えています。また、安心子ども基金については、茨城県安心子ども支援事業費補助金として3219万7000円を計上し、ファミリーサポートセンター事業、民間保育所助成事業における地域子育て支援拠点事業や一時預かり事業各補助金、母子保健事業における乳児全戸訪問養育支援の各経費に活用を見込んでいます。

**問** 行政課題研究事業の内容について伺います。

**答** 行政課題研究は、26年度の新規事業の一つとして、地方分権の進展や多様化する行政ニーズに因應するために、またその直面する行政課題を職員がみずから企画立案し行動できるように人材を育成するため、みずから研修テーマを設定し、みずからその研修計画を立案し、1年間研修を実践する事業です。



議案第2号  
平成26年度鉾田市国民健康保険特別会計  
予算

**問** 国民健康保険は、前年度対比で6332万4000円、率にして2.9%の増という予算になっていますが、医療費の伸びなど主な理由、保険税の値上げは予定をしているのか伺います。

**答** 国民健康保険特別会計の歳入が増えている理由は、納付状況の推移から増額計上したものです。保険税の改定については、まだ正式な通知が来ていませんが、保険料について、既に政令が公布されている状況ですので、国保税においても同様の課税限度額の引き上げ、さらには低所得者の軽減措置の拡大が見込まれています。

# 予算特別委員会を開催 2日間で慎重な審議

## ◆委員構成◆

委員長 岩間 勝栄  
副委員長 米川 宗司  
委員 小沼 勝  
委員 小沼 幸義  
委員 根岸 眞  
委員 出沼 丈夫  
委員 小川 一彦  
委員 水上美智子  
委員 入江 晃  
委員 江沼 久男  
委員 小沼 俊秀  
委員 島 長弘  
委員 井川 茂樹  
委員 友部 政徳  
委員 栗田 洋  
委員 田口 清一  
委員 堀田 正衛  
委員 高野 衛  
委員 石津 武吉  
委員 倉川 陽好

3月14日の本会議で予算特別委員会が設置され、平成26年度の当初予算案が本委員会に付託されました。3月17日及び18日の2日間委員会を開催し、各部ごとに所管する予算についての審議を行いました。

## 付託事件

議案第1号 平成26年度鉾田市一般会計予算  
議案第2号 平成26年度鉾田市国民健康保険特別会計予算  
議案第3号 平成26年度鉾田市後期高齢者医療特別会計予算  
議案第4号 平成26年度鉾田市介護保険特別会計予算  
議案第5号 平成26年度鉾田市農業集落排水事業特別会計予算  
議案第6号 平成26年度鉾田市公共下水道事業特別会計予算  
議案第7号 平成26年度鉾田市水道事業会計予算

## 【審査経過（主な質疑・提言）】

**総務部所管** 再編交付金はまちづくり基金に全額充当され地域振興事業等に活用されるようだが、この交付金の性格から防衛施設付近で騒音被害を受ける住民のために手厚くするようにとの指摘がありました。

**市民部所管** 鉾田・行方・潮来市一般廃棄物広域処理促進協議会負担金の中で、今後の用地選定について年度内に結論が出るよう協議されたいとの意見がありました。

**産業経済部所管** うまかつペフェスタのイベント運営を、商工会や農協等の参加団体に委ねることで、一般財源を削減できるのでは、との意見や、年1回の開催を通年でのイベント開催による市民交流の場としてはどうかとの提案がありました。

**建設部所管** 市道維持補修事業が前年より増加している要因については、路盤再生、舗装面のオールカバーなど市道の修繕費が増えることによるものだというものでした。

また、震災から3年が経過し主要道路の復興が完了したとはいえ、震災に起因する道路の破損はまだ潜在しているため、災害復旧費における対応を検討されたいとの意見がありました。

**健康福祉部所管** 自殺対策緊急強化事業が昨年度より大幅に減額となった理由は、26年度は県からの補助金がなくなったことによるとのことです。

た。

しかしながら、本市の現状を見ると近隣自治体よりも自殺者が多い傾向にあり、その対策については市の独自の取組を行うなど、万全を期す必要があるとの意見がありました。

**教育部所管** 鉾田北中学校校舎改築事業の小学校建設の工期が短すぎるのではないかと指摘や、鉾田南中学校区統合小学校整備事業で、統合後の24クラス体制に関して、大規模過ぎて運営上よくないのではないかなどの指摘もありましたが、いずれにせよ、将来を担う子どもたちのための統廃合であるようにとの意見がありました。

**上下水道部所管** 布設替工事において、高速道路に関する16箇所の配水管設置に対し東日本高速道路株式会社からの補償は無いのかとの質疑に対しては、施設の減価償却分の9千万円が補償されるとのことでした。

**【審査経過（討論）】**  
討論に入ると、第4号議案以外の議案について討論が行われました。

議案第1号では、市民税の増税、小学校統廃合を強引に推進する点、霞ヶ浦導水事業に関する負担金、住宅の耐震対策が講じられていない点、消防費における住民負担、各種基金の活用が十分でないとの反対討論に対し、市長からの施政方針にもあった復興から飛躍へを念頭にしたいのちと暮らしの先進都市の実現に向け、各分野の施策に

対し市民のためのバランスの良い予算の配分がなされており、大いに評価できるとの賛成討論がありました。

議案第2号では、短期資格証明書の発行、保険料の引上げ等について反対する討論に対し、国民健康保険制度を堅持するための保険料の引上げは容認できるとの賛成討論がありました。

議案第3号では、年金の支給額が下がり高齢者の生活が厳しい中、以前の老人保健の制度に戻すようにとの制度上に対する反対討論に対し、後期高齢者に対し医療の確保及び健康の保持増進を図るための予算編成となつていくとの賛成討論がありました。

議案第5号から第7号では、消費税増税による料金の値上げに関する反対討論に対し、公共下水道事業、農業集落排水事業、上下水道事業において、市民に安全で潤いのある生活を確保していることや、料金についても適正であるとの賛成討論がありました。

## 【審査結果（採決）】

採決の結果、議案第4号については全会一致により、議案第4号を除く第1号から第7号については、賛成多数により原案のとおり可決されました。

# 主な討論

## 平成26年度鉾田市一般会計予算

### ○反対討論（石津武吉）

近年、地方の行政あるいは地方政治において今大きくクローズアップされているのがコストカットです。その結果、非正規職員を使って、安上がりな低住民サービスという流れになっており、正職員が大幅に減るのに伴い、住民サービスの低下を招いています。鉾田市においても合併以来100人を超える職員を削減し、非正規雇用をどんどん増やしていくという流れをこの辺でとめていかななくてはならないというのが1つの理由です。

その一方で、基金の残高が大幅に増えていることも、私には大きく危惧しています。起債残高が200億円という中で、

基金の現在高は百数十億円と起債残高の75%ぐらいを基金でためているという流れは、コストカットのやり過ぎであり大きな問題点だと思います。基金についても、基金のある担当部門においてはこれを使えますけれども、基金のない担当部門は何ら財源的な裏づけがなかなかされない。また、総枠方式ということで予算も限定的にされてしまいますので、こうした基金の一方的な積み立てや、年度末、決算時期になってからの積み立てについては見直しを行い、有効な使い道を考えていくべきではないかと思う次第ですので、本案については反対します。

### ○賛成討論（栗田洋）

鬼沢市長の市政運営の基本である復興から飛躍へを念頭に、いのちと暮らしの先進都市の実現に向けて、教育、福祉の充実、道路、環境などの生活基盤の整備、地域ブランドを高め、地域活性化に資するため産業の振興などに重点的に取り組むとともに、引き続き震災から復興に向けて災害対策関連施策に取り組む、市民が安全、安心に暮らすことができるまちづくりを目指した平成26年度鉾田市一般会計予算は、市民生活の安定に向けて、引き続き被災者に対する支援や鉾田北中学校校舎改築工事にあわせ、鉾田北中学校区統合小学校の整備、合

併関連道路の整備などに合併特例債事業や医療福祉費（マル福）の中学生までの拡大などによる子育て支援、がんばる商店支援事業などの創設、基幹産業である農業ブランドアップや各種施設の復興などに重点的に予算を配分したため張りのある、かつバランスのとれた予算となっています。また、財政力の脆弱な本市において、将来世代に負担を残すことのないよう、国、県の補助金や交付税措置のある有利な起債、さらに特定目的基金の有効活用を図ることで当市の財政状況に合った予算となっています。

以上の観点から、本案について賛成の意を表します。







# ここが争点!

国民健康保険特別会計予算については、滞納を理由とした資格証明書の発行や短期保険証の発行、そして最高限度額の引き上げを理由とした反対討論に対して、それら財政力の低い方のためにも手厚い予算を組んでいるとの賛成討論がなされました。

後期高齢者医療特別会計予算については、高齢者の医療は原則無償にすべきであり、もとの老人保健制度に戻すべきとの反対討論に対して、後期高齢者に対しても、医療の確保及び健康の保持、増進を図るための予算編成となっているとの賛成討論がなされました。

農業集落排水事業特別会計予算、公共下水道事業特別会計予算、水道事業会計予算の3議案については、消費税増税分を料金に反映していることへの反対討論に対して、消費税率改正に伴う適切な対処であるとの賛成討論がなされました。

いずれの議案についても賛成多数により可決されました。

平成26年度 銚田市国民健康保険特別会計予算  
 平成26年度 銚田市後期高齢者医療特別会計予算  
 平成26年度 銚田市農業集落排水事業特別会計予算  
 平成26年度 銚田市公共下水道事業特別会計予算  
 平成26年度 銚田市水道事業会計予算

欠席者

第1回定例会

3月4日	本会議	畠長弘
3月7日	本会議	畠長弘

## 各議員の賛否（賛成反対が分かれた議案のみ掲載）

議案名	議員名		小沼	根寄	小沼	出沼	小川	水上	入江	江沼	小沼	岩間	畠川	井川	米川	友部	山口	栗田	田口	堀田	高野	石津	倉川	採決結果
	反対討論	賛成討論	勝	眞	義	夫	彦	美智子	晃	久男	俊秀	勝栄	弘樹	宗司	政徳	徳洋	清一	正衛	武吉	陽好				
銚田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について	高野	井川	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
平成26年度 銚田市一般会計予算	石津	栗田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
平成26年度 銚田市国民健康保険特別会計予算	高野	倉川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	退	○	可決
平成26年度 銚田市後期高齢者医療特別会計予算	高野	入江	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
平成26年度 銚田市農業集落排水事業特別会計予算	高野	畠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
平成26年度 銚田市公共下水道事業特別会計予算	高野	小沼(幸)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
平成26年度 銚田市水道事業会計予算	高野	畠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
銚田市立学校設置条例の一部改正について	高野	米川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	●	●	○	可決
議長不信任の件について	倉川 石津	井川	●	○	○	○	○	○	●	●	●	○	議	○	○	○	除	●	●	○	●	●	●	可決

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 議：議長 欠：欠席 退：退席 除：除斥



# 市政を問う 会派代表者質問

3月10日に6会派が  
代表質問をしました

平成26年第1回鉾田市議会定例会 会派代表者質問

会派名 質問者	質問事項
志政会 田口 清一	1. (仮称) 鉾田市民交流館整備事業 2. 個性と多様性を尊び地域文化を育むづくり 3. 次代の農業を中心とした力強い産業づくり
大志会 井川 茂樹	1. 一人ひとりの健康と安心を支える地域づくり 2. 次代の農業を中心とした力強い産業づくり 3. 個性と多様性を尊び地域文化を育むづくり
清流会 友部 政徳	1. 教育問題について 2. (仮称) 鉾田市民交流館について 3. 東日本大震災災害対策関連施策
公明党 鉾田市議団 入江 晃	1. 一人ひとりの健康と安心を支える地域づくりについて 2. 次代の農業を中心とした力強い産業づくりについて 3. 自然を感じる快適で安全な空間づくりについて 4. 個性と多様性を尊び地域文化を育むづくりについて
日本共産党 鉾田市議団 石津 武吉	1. 消費税増税の影響について 2. 「復興から飛躍へ」について 3. 統合小学校建設について 4. 東海第二原発の再稼働の動きについて
政和会 小川 一彦	1. やらなければならない施策 2. 観光振興について 3. 商工振興について 4. うまかつフェスタについて 5. 橋梁について 6. 防災体制について 7. 教育について 8. Q-Uテストについて 9. 職員定数について

## 代表質問とは？

特定の議員が政党又は会派を代表して、長や行政委員会が執行する一般事務に対し、各行政部門ごとに質問事項をまとめ、これについて質問することをいいます。

鉾田市議会では、議会の円滑な運営を図るため、平成24年12月から会派制を導入し、議会の活性化に努めてきました。

平成26年第1回(3月)定例会からは、新年度に向けた『施政方針』に対して、会派代表者質問を行うようにしました。

## (仮称) 鉾田市民交流館の 事業推進について



志政会  
田口 清一  
議員

**問** (仮称) 鉾田市民交流館について今後どのように事業の推進を図っていきますか。

また、予算案では42万6000円、説明会開催の予算しか計上されておりません。もう少し積極的に事業推進を図るべきと考えますが、いかがか。

## 次代の農業を中心とした 力強い産業づくりについて



大志会  
井川 茂樹  
議員

**問** ブランドアップにおける商品目標とするのか。また、商品化されたことにより生産者の所得の向上が図られた事例がありましたら、伺います。

**答** 【市長】現在鉾田市産地ブランドアップ振興協議会で

## 答

【市長】(仮称) 鉾田市民交流館の事業の進め方ですが、3月の広報紙に計画概要を掲載し、市民への周知を図りました。また、4月の区長会の各支部総会において計画概要と市民説明会の説明を行います。そして22日から26日にかけて市民説明会を実施し、意見をいただき、事業を進めていきます。平成26年度の当初予算については、市民説明会の経費のみを計上していますが、何よりも市民の皆さんの理解を得ることが第一と考えており、理解を得られたと判断すれば、事業化に向けた経費を計上させていただく予定としております。

36品目で、本年も5月ごろをめどに2品目から4品目の追加を目指しています。また、鉾田ブランド加工品の売上額は平成21年度から平成24年度までで6億3000万円、平成25年度は現在集計中ですが2億円を超えるものと推測されます。使用される農作物の大半が規格外品であり、今まで廃棄処分されてきたものですので、売れた分がそのまま農家の収入増につながったと認識をしているとともに、このような加工品開発や各種PR活動を通じてメロンを初めとした鉾田市産の農産物のブランド力の向上が図られたと考えております。



銚田市の教育について問う



清流会 友部 政徳 議員

問

【市長】 昨年の全国学力テストで小学校6科目で堂々全国1位を獲得した秋田県では、先進的な学習方法や、生活指導があったそうです。銚田市における教育について、どのように考えているか伺います。

答

【教育長】 我が銚田市でも秋田県と同様に少人数のクラスでのティームティーチング（※）

一人ひとりの健康と安心を支える地域づくりについて



明党 市議員 入江 晃 議員

問

障がいのある方々にとつても、銚田市が「命と暮らしの先進都市」でなければならぬと思います。そこで、障害者基本計画、障害福祉計画の改定は、具体的にはどのような視点で行うのかを伺います。

答

【市長】 平成26年度に策定する障害者基本計画、障害福

や朝のテストやドリル、学び合い活動、補充学習等を実施しています。家庭学習についても家庭学習の手引等を作成し、保護者に協力いただき、子どもが自分で計画を立てて実施したり、授業内容と家庭学習を関連付けたりして成果を上げていく学校がほとんどです。

特に学校、家庭、地域との連携については、地域の教育力の活用という観点から、地域のゲストティーチャーを積極的に活用したり、様々な分野で活躍している方を招聘したりもしており、大きな教育効果が上げられていると考えています。

祉計画は、現行の銚田市第2期障がい者基本計画、銚田市第3期障がい福祉計画の見直しを行うものです。障害者基本計画は、障害福祉施策の啓発、広報の推進、相談支援体制、障害福祉サービス等の充実、防災体制の整備、教育、保育体制の充実等、多岐にわたるもので、障がいのある方の自立した日常生活を支援するための基本的な方策を定めるものです。

一方、障害福祉計画は、障害福祉サービスや日常生活用具給付事業等の見込み量の揭示とともに、各種障害福祉施策の提供体制の確保等に関し、必要な事項を定めるものです。

東海第二原発の再稼働の動きに  
対する市長の姿勢を問う



日本共産党 市議員 石津 武吉 議員

問

【市長】 東海第二原発の再稼働の動きについて、銚田市と大子町が再稼働について日本原電に事前説明や協議を要請したとの報道もありましたが、これらも含めて市長の基本的な姿勢をお尋ねします。

答

【市長】 本市の一部も東海第二原発から30キロ圏内のU

市長が思う、やらなければならない施策



政和会 小川 一彦 議員

問

【市長】 小学校の統合以外で市長が思うやらなければならない施策を伺います。

答

【市長】 まず、合併特例債事業の総仕上げです。合併関連道路の整備や銚田北中学校校舎改築工事の実施、(仮称)市民交流館の整備に係る基本計画について市民の皆様から意見をいただき進

PZに位置しているという現実を考慮すれば、再稼働には前向きにはなれませんが、原発即時ゼロは現実的な対応ではないと考えており、具体的な目標年次を定めて段階的に原発依存度を下げていくことが現実的であると考えています。

原子力所在地域首長懇談会及び県央地域首長懇話会を構成する11市町村と日本原電が東海第二原発周辺地域の安全確保に関する覚書を締結するに当たり、本市も覚書を締結市町村と同様の措置を講じたことへの回答を得ています。今後とも日本原電に対しては言うべきことをしっかりと行っていく考えです。

めていきます。

2点目は、総合計画の着実な推進です。子育て環境の充実や、銚田市産農畜産物のブランド化、農業や商工業のさらなる振興、また、涸沼のラムサール条約登録も進めます。

3点目は、生活基盤の整備です。一般廃棄物処理施設建設や公共下水道事業等の都市基盤整備、学校施設の耐震補強工事による児童生徒の安全確保を図ります。

4点目は、東日本大震災からの復興で、風評被害の払拭に引き続き取り組んでいきます。また、それ以外にもやらなければならない施策は山積していますので、市民の皆様の理解と協力を得ながら実施していきます。

※ティーム・ティーチングとは

複数の教員が役割を分担し、協力し合いながら指導計画を立て、授業を行う指導方式のことです。

# ここが聞きたい!! 一般質問

## 9人の議員が一般質問

議員名	質問事項
倉川 陽好	1. 子ども・子育て新支援制度について 2. 貸家条例について 3. 市民税収納率向上について
石津 武吉	1. うまかっぺフェスタ山新グランステージ水戸について 2. 銚田市社協の停職処分職員の復帰について 3. 女性職員の幹部登用について 4. 東関道開通にむけての対応について
畠 長弘	1. 学校教育環境整備について 2. 防災対策について 3. 行政改革（スリム化）について
米川 宗司	1. 災害等に対する対応について 2. 道路行政について
友部 政徳	1. 銚田市四塚地内送水路について 2. 安塚地内公共下水道処理施設周辺の排水対策について 3. 市道7-67新宮農免道路の崩落について
水上 美智子	1. 鹿島臨海鉄道に架かる跨線橋の修繕計画について 2. 動物愛護について 3. 高齢者対策について 4. 介護予防について
入江 晃	1. 銚田ブランド及び農産物の販路拡大について 2. 市の観光推進について
出沼 丈夫	1. 耕作放棄地について 2. 新銚田駅前（ロータリー）無料駐車場について
高野 衛	1. 避難計画の策定について 2. 自然エネルギー活用の推進について 3. 地域医療について 4. 大雪による被害対策について



### 子ども・子育て支援制度に対する市の対応は

倉川 陽好 議員

#### 問

子ども・子育て支援事業の市町村での実施や認可制度の改正といった問題に対し市ではどう対応していくのか伺います。

#### 答

【健康福祉部長】  
銚田市では、各関係機関の代表者で構成する銚田市子ども・子育て会議を立ち上げ、昨年11月に第1回会議を開催しました。また、12月には子育てに関するニーズ調査を行い、回収がほぼ完了したため現在は整理を行っています。

#### 再質問

26年度は、アンケート結果と現在の利用状況を踏まえ、子育て支援の内容を検討し関係条例の制定や規則の整備を図る予定です。

また、子ども・子育て支援事業計画も、26年度中に策定が完了するよう進めていきたいと思えます。

#### 再質問

認定こども園をつくるのと、幼稚園と保育園が1カ所です。こども園をつくった場合、現在の公立幼稚園をどうするか伺います。

#### 答

【教育長】公立幼稚園は存続させる方向で考えていますが、小規模なところを集積して認定こども園等にすることも案としては考えています。

#### 再質問

現在の出生率等だと、現在ある幼稚園、保育園で賄えますか。

#### 答

【健康福祉部長】賄えると思えます。新制度になると、今までの認可外の保育所についても市

### ホームページで 一般質問の会議録が見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

- ①銚田市のホームページへアクセスする。  
アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>
- ②市ガイド内の「銚田市議会」をクリックする。
- ③会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、6月頃の予定です。  
本会議の会議録（冊子）は、市立図書館で閲覧できます。

銚田市役所ホームページ

検索

#### 提言

新しい制度が定められる条例の要件をクリアすれば、事業をすることができるようになり、保育所が増えることが見込まれるためです。

きて、国から財政支援が行われるようであるので、民間で借地をやっているものがいいものか、新たに認定子ども園として学校の廃校を利用してやったほうがいいのか、今後検討していただきたいと思います。



## 行政のスリム化について

畠 長 弘 議員



## 女性職員の幹部登用について

石津 武吉 議員

**問** 市民交流館について住民説明会を行うということですが、周辺を含めた都市計画案を策定しているか伺います。

**答** 【建設部長】市民交流館の周辺を含めた都市計画案としては、用途地域の変更、特定用途制限地域の設定などが考えられます。現段階では周辺地区の土地利用についての都市計画案は策定していませんので、今後の検討課題としてお考えください。

**問** 日本では民間企業、役所ともども、女性職員の幹部比率が欧米諸国に比べて極めて低いという数字が挙げられています。銚田市において、女性の職員が幹部に登用されていない理由として、1つは長時間労働、特に子育て中の女性職員等は、職場の協力体制が受けにくいという点があると思います。

**答** 職場環境を整えながら、女性職員の幹部登用を進めていかなければならないと思います。遅々として進

**再質問** 今、地方は行政機能をなるべく小さいところできちんと集めるコンパクトシティ構想を推進しています。本市でも、防災の拠点等様々な機能が組み込まれている市民交流館をインターチェンジ付近に建設する予定となっています。そのうなると拠点施設が現在の市役所と、インターチェンジ付近の市民交流館と二極化するわけですが、やはり1カ所にまとめて取り組んでいかなければならないと

みません。遅れている理由、今後の職場環境への改善点についてどのように考えているのかお尋ねします。

**答** 【市長】限られた人材で効率的かつ効果的に行政運営をしていくため、女性職員の積極的な登用は必要不可欠であり、次世代育成の観点からも、女性職員が働きやすい職場環境の充実が重要な課題であると考えています。そのため、銚田市では、育児休業制度の充実や、国の制度を上回る産前休暇7週間、看

護体制の創設等独自に特別休暇の充実を図り、職場環境の整備に努めています。現在、女性管理職はいませんが、銚田市誕生以降、採用、昇進についても男女の区別なく積極的に進めてきましたし、平成25年度現在では女性の課長補佐が5人、係長が19人おり、次年度にも、女性の幹部職員を誕生させたい考えです。

**再質問** 市長自身が女性職員と昼食会のような形でミーティングを行わなければ、職場の

現状、職員の悩みや能力を把握するための判断材料に乏しいと思われ、それがいかにかかお尋ねします。

**答** 【市長】現在、試行的に人事評価を実施しておりますが、今後は評価の良くないものは昇進に反映するようにします。能力もやる気もある人間は積極的に登用すべきとは思いますが、2階級特進はできませんので、着実に底上げを行い、26年度には管理職を誕生させ、それ以降も増やしていきたいと考えています。

思います。現在の市役所周辺が、インターチェンジ付近か、行政の中心をどちらかにしていかなければならないと思いますが、どちらが理想的な形と考えているのか伺います。

**答** 【市長】確かに1カ所に集合したほうが機能的で使いやすい面はあります。ただ、現実的に土地の確保等の問題があり難しいのが現状と思っております。将来的には、この庁舎が中心になるのか、市民交流館の方になるのか、それ

**提言** 今後進めようとしていく市民交流館周辺の都市計画案を適切に示した上で、市民説明会を開いたほうが、市民の皆さんにも理解をいただけるのではないかと考えますので、担当課として用途地域等の設定をしていくべきだと思います。





## 下公共周 地内施設 安塚地内 水道処理 周辺の排水対策について

友部 政徳 議員



## 地震等の災害に 対する市の対応は

米川 宗司 議員

**問**

南海トラフ巨大地震、首都圏直下型地震等の大規模地震に備えた災害に対する対応について伺います。

**答**

【総務部長】 銚田市においては、昨年9月、東日本大震災を教訓に、茨城における甚大な被害をもたらず地震を想定し、銚田市地域防災計画を改定しました。現在計画に基づき、マニュアル化による初動対応の強化、電源喪失に対応する多様な情報ツールの確

**再質問**

東日本大震災を上回る、想定外の規模の地震が来るとも言われているなかで、銚田市が受けた災害を風化させないことも一つの防災であると思っています。災害を風化させず、そして災害があつたときには、住民に不安と不満を与えないように、スピード感を持って対応をすることが大切であると思いますが、その点について考えを伺います。

**問**

【総務部長】 皆様にお配りした防災ラジ

**提言**

資機材の整備を向上、そして震災を風化させないように進めていたいただきたいと思ひます。

**問**

台風26号により、安塚地区公共下水道処理施設周辺のライセンサーと住宅が被害に遭いました。今後どのような排水対策を進めていくのか、また、遊水池をつくってはいかがか、さらに、排水機場の電気料金の負担はどのようになっているかを伺います。

**答**

【上下水道部長】 まず、今後の排水対策ですが、雨水を分散して排水することが一番であると思ひつています。現在、効果

的な排水対策を講ずるべく調査設計業務を委託発注したところで、周辺地域の排水量と必要な排水能力を算定し、田中川への放流や新たな排水路の整備といった思い切った対策をすることが肝要であると思ひつています。設計委託の進捗によりある程度の資料が整いましたら、皆様に示しながら対策を講じていきたいと思ひつています。

2点目の遊水池の設置ですが、遊水池となると、盛り土した部分を逆に削るという作業となり、かなりの時間と手間が予測されます。さらに、土の処分の問題もあり、それだけ多額の経費をかけるのであれば、別の工法が得策ではないかということ、非常に厳しいと思ひつています。

3点目の排水機場の電気料金については、10月から翌年3月までの農閑期における排水対策として、電気料金を市で負担していただきます。昨年度まで定額で負担をしていましたが、本年度は市の負担金で賄い切れな

**再質問**

排水機場のポンプ設備の能力はどのくらいありますか。

**答**

【上下水道部長】 排水量としては毎分46トンです。それともう一台、毎分2トンのものがあります。





### 銚田市の観光推進について、今後の目標と課題は

入江 晃 議員



### 介護予防に対する市の取り組みは

水上 美智子 議員

#### 再質問

銚田市にあるエコハウスや

**問** 市の観光推進について、今後の目標と課題について伺います。  
**答** 「産業経済部長」 今後については、県内外への各種イベントに積極的に参加し、観光客誘致に向けた取り組みを引き続き実施するほか、観光客をターゲットとした交流人口の拡大を図るため、農工商と連携しながら、観光客が銚田市に来てくれるよう努めていきたいと思えます。

**問** ビックレッドファーム等の施設も、観光スポットとして利用できないか考えていく必要があると思えます。  
**答** また、鎌倉市のように市の観光協会がプロジェクトを組み、クラウドファンディング(※)を利用し、資金を集めているところもあります。  
どうPRをすれば、銚田にもっと人が集まるのかというのを、もう少し深く検討する必要があると思えますので、できる限りの方策を考えて進めていただけ

#### 再質問

銚田市に来ていただけるよ

**問** 全国でも取り入れている市町村はごくわずかなので、市の取り組みとしては時期尚早と考えております。  
**再質問** やはり市として介護予防に力を入れることが大事だと思います。  
**答** 脳を元気にすることが介護予防に繋がると言われる中、幸手市では65歳以上の高齢者向けに「脳の健康教室」という取り組みも無料で行っています。そのように、それぞれの自治体が努力をし、工夫をしています。

#### 再質問

銚田市に来ていただけるよ

**問** うに、観光のプロジェクトチームをつくって研究すべきと思えます。郷土を立派なものにするため、どうしたらもっと魅力アップできるか市長の考えをお聞きます。  
**答** 「市長」 銚田市はメジャーな観光資源は残念ながらないと言っても過言ではないと思っています。が、実際にはいいスポット、いい作物等がありますので、これまで以上にPRをし、少しでも交流人口を増やしていきたいと思えます。

※クラウドファンディングとは あるいは志や目的を持った人や団体に対する資金を、ネットを通じて不特定多数の人から収集する手法。群衆(crowd)と資金調達(founding)を組み合わせた造語。

#### 問

本市の介護予防の意識向上を目指すための取り組みを伺います。

次に、埼玉県幸手市では65歳以上を対象に、軽度認知障害スクリーニングテスト(あたまたの健康チェック)を実施しています。1回2500円の費用がかかりますが、幸手市では費用を市が負担するため、無料で受けられます。軽度認知障害のリスクを97%という高い精度で確認できるテストなので、本市でも取り組んでもらえないか伺います。

#### 答

「健康福祉部長」 市では各種の介護予防事業を実施していますが、参加率が低い状況です。理由としては、対象者に生活機能低下等の自覚がないことや、介護予防の必要性と意義を十分に理解していないこと等が考えられます。そこで、広報や普及活動等で介護予防の重要性を広く周知し、高齢者クラブ等を通じ参加の働きかけをしていきたいと考えています。  
次に、軽度認知障害スクリーニングテストですが、

#### 再質問

やはり市として介護予

防に力を入れることが大事だと思います。  
**答** 脳を元気にすることが介護予防に繋がると言われる中、幸手市では65歳以上の高齢者向けに「脳の健康教室」という取り組みも無料で行っています。そのように、それぞれの自治体が努力をし、工夫をしています。

#### 答

「市長」 高齢者の皆さんが元気で生きがいを持つことは、大変大事だと思っております。みんなで集まったり、スポーツをしたりする場を提供し、参加してもらうことによって、みんなが元気で前向きに生活できるまちにしていきたいと思っております。今後、これまで以上にそのように努めていきたいと思えます。



## 放射能汚染の現状と 耕作放棄地の取り組みは 急増している



出沼 丈夫 議員

### 問

1点目、耕作放棄地の急増が、各地で問題となつています。鉾田市ではどのような対策を考えているか伺います。

2点目、放棄地が住宅の近くにまで発生しているために、洗濯物を外に干せない、放棄地での火災の心配があるなど、心配で気が休まらないという市民の声があります。市としての考えを伺います。

### 答

【産業経済部長】1点目、耕作放棄地対策としては、国の耕作放棄

地再生利用交付金事業を積極的に活用し、営農再生に取り組んでいます。今年度の当該交付金事業の実施件数は11件で、8・41ヘクタールが再生しています。また、来年度から農地の中間管理機構が創設されますので、これらについても活用していただくよう市としても支援をしていくとともに、周知していきたいと思えます。

2点目については、農地の管理は原則として地権者が管理すべきものですが、苦情等があった場合には、

現地を確認し、市から地権者等へ適正な管理が行われるよう通知しています。

### 再質問

秋田県の小坂町では、堆肥化した生ごみを耕作放棄地に還元して菜の花を栽培し、作付した菜の花から精製した菜種油を家庭や給食センターなどで使用しています。また、出た油かすや廃油等を回収してBDF（バイオディーゼル燃料）として活用するなど、耕作放棄地を利用して循環型社会形成に向けた取り組みを

行っています。

### 答

【産業経済部長】それらの事例について検討し、耕作放棄地が少なくなるように進めていきたいと思えます。

### 提言

市でも耕作放棄地が少しでも減るよう努力していただきたい。

## ののこの 事故の 発生に 原因を 究明し 海原に 避難先 を確保 する



高野 衛 議員

### 問

東海第二原発過酷事故に対する避難計画の策定について、今、県や関係市町村とどのような協議がされているかお尋ねします。

2点目は、避難計画を策定する上で不足している情報は何かを伺います。

3点目は、避難計画の策定ができない中で安全審査の申請は認められないと思えますが、見解を伺います。

### 答

【総務部長】広域避難計画の策定については、茨城県が中心となり関係市町村及び関係機関との定期

的な協議を行い、避難先、避難場所、情報伝達の手段、移動方法など多岐にわたって意見交換を行っています。

2点目、広域避難となると、鉾田市のみならず、避難先の情報も必要になってきますが、その点が不足しているのを整理していかねればなりません。

3点目、安全審査申請は原子力規制委員会が作成した発電所の新規制基準により適合性を審査するものであり、安全審査を出す前の前提として避難計画が必要であるという

### 再質問

ことではありません。原子力発電所が立地しているという現状を考えれば、安全審査申請や再稼働の有無にかかわらず、避難計画は必要であると考えています。

避難計画策定というところで、要介護者や、介護施設に入っている方、入院している方等の避難についてまで具体的に協議されているのか伺います。

### 答

【総務部長】病人や要援護者等を受け入れる病院等の施設が30キロ圏外にどれだけあり、そこへどう

### 再質問

割り当てをし、移動できるかという部分までを含めた計画に仕上げていきます。

風向きにより、避難する場所も当然変わりますが、移動時の風向きというものについては考えているのか伺います。

### 答

【総務部長】計画の中では、風向きについてはSPEEDIというシステムをフルに使い、移動すべき場所、方向を算出し、それに基づいて避難することになります。

※SPEEDIとは 緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI：スピーディ）のことで、原子力発電所などから大量の放射性物質が放出されたり、そのおそれがあるという緊急事態に、周辺環境における放射性物質の大気中濃度及び被ばく線量など環境への影響を、放出源情報、気象条件及び地形データを基に迅速に予測するシステムです。





## 主な議会の動静

### 2月

- 7日 茨城県市議会議長会第2回議員研修会(鉾田市)
- 12日 議会運営委員会
- 12日 平成26年第1回臨時会
- 13~14日 議員研修会(那珂市・福島県大熊町)
- 18~20日 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会  
原子力施設の安全に関する調特別委員会行政視察(沖縄県名護市)
- 26日 議会運営委員会

### 3月

- 4~20日 平成26年第1回定例会
- 4日 全員協議会
- 7日 議会運営委員会
- 13日 議会運営委員会
- 17~18日 予算特別委員会
- 20日 議会広報編集委員会

### 4月

- 4日 正副議長・正副委員長会議
- 11日 県東市議会議長会定例会(小美玉市)
- 18日 県市議会議長会定例会(水戸市)
- 21日 議会広報編集委員会
- 22~23日 第80回関東市議会議長会定期総会(千葉県市川市)
- 24日 市町村長・市町村議会議長会議(茨城県主催)

### 議員定数を2人削減

2月12日(水)の第1回臨時会において、委員会提案による「鉾田市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について」を賛成多数により可決し、現在の22人から20人に削減しました。

この条例は、施行の日以後初めてその期日を告示される一般選挙から適用されます。

議員報酬月額が改定され、平成26年4月1日から下記のとおり引き上げられました。

職名	旧	新
議長	305,000円	350,000円
副議長	250,000円	300,000円
議員	240,000円	280,000円

### 議長不信任決議案が可決される

3月10日(月)の第1回定例会本会議において、山口徳議長に対する不信任決議案が「議員報酬引き上げに関する議会内の協議が不十分」などの理由により提案され、賛成多数により可決されました。

### 本会議の開始時間が遅れる

3月13日(木)の第1回定例会本会議では一般質問が予定されておりましたが、午前10時の開議時刻になっても出席議員が定足数に達せず、会議を開くことができませんでした。その後、定足数に達したため本会議を開くことができましたが、45分ほど遅れてしまいました。

### 【議会用語解説】

#### 定数とは？

条例により定められた議会の構成員数をいいます。以前は、地方自治法により、人口に応じて上限数が規定されていましたが、地方分権を推進するため、平成23年の法改正に伴い、上限数が廃止されました。現在は、**定数**についての基準や制約は特になく、当該団体で自主的に決定すれば良いこととなっています。また、議員定数の変更は一般選挙の場合に限られており、任期中には変更できません。

#### 定足数とは？

**定足数**には議事の**定足数**と議決の**定足数**の2種類があります。議事の**定足数**は案件を審議し会議を継続するために必要な最小限の議員数のことであり、議決の**定足数**は案件を議決する時に必要な最小限の議員数のことです。

#### 議事の定足数とは？

議事の**定足数**については地方自治法で、「議員の定数の半数以上の議員が出席しなければ、会議を開くことができない」と規定されています。

#### 議決の定足数とは？

一般的な議決の**定足数**は「出席議員の過半数でこれを決し、可否同数の時は議長が決する」ことが原則になりますが、特に重要な案件については例外もあります。地方自治法で規定する「懲罰における議員の除名議決」(議員の三分の二以上の者が出席し、その四分の三以上の者の同意が必要)や、地方公共団体の議会の解散に関する特例法で規定する「議会の自主解散」(議員の四分の三以上の者が出席し、その五分の四以上の者の同意が必要)などがあります。

# 議員研修

2月13日(木)に那珂市の独立行政法人 日本原子力研究開発機構 那珂核融合研究所において、核融合工ネルギーの実現に向けた取組を、翌14日(金)に福島県大熊町の福島第1原子力発電所において、福島第1原子力発電所事故後の状況について研修しました。



福島第一原子力発電所

## 茨城県市議会議長会 平成25年度第2回議員研修会



ホテルニュー麻生

2月7日(金)に銚田市のホテルニュー麻生において、茨城県市議会議長会 平成25年度第2回議員研修会が開催されました。当日は地方議会研究会代表の野村稔先生を講師に招き、『地方議会改革について』をテーマに講演をいただきました。出席者は県内の市議会議員や議会事務局職員等165名でした。

### ～議会を傍聴してみませんか～

銚田市議会では、定例会を年4回(3月、6月、9月、12月)開催しております。本会議の開始時刻は午前10時からとなります。

傍聴を希望される方は、当日に市役所3階の議会事務局までお越しいただき、銚田市議会傍聴人受付簿に住所・氏名・年齢を記入していただくようお願いします。

また、市役所1階ロビーでも議会の様子が放映されておりますのでご覧ください。

# 委員会活動報告

## 百里基地・茨城空港に関する 調査特別委員会行政視察研修

2月19日

(水)に沖縄県名護市議会において、本市の懸案事項である百里基地の航空機騒音問題等について、同様の課題を抱える他市議会の取り組みを調査・研究するため、

名護市議会、軍事基地等対策特別委員会の活動状況等について研修しました。

名護市にはキャンプ・シュワブをはじめとして、キャンプ・ハンセンや辺野古弾薬庫等の在日米軍海兵隊基地が存在し、名護市の総面積の約11%を占めています。名護市における騒音問題は、本市と同様の航空機騒音のほか、廃弾処理に伴い発生する爆発音などの苦情も数多く寄せられています。

本市においても、航空機騒音による生活環境への悪影響や、部品落下事故による市民の不安解消に向けて、百里基地に対して適時適切な情報開示や再発防止を求めるとともに、住民生活の安定と福祉の向上を目指し、国に対しても再編交付金の期間延長などを引き続き要望してまいります。



名護市議会

## 山形県南陽市議会 議会運営委員会が来訪

鉾田市議会で平成19年12月に制定した「議会基本条例」の制定までの経過やその後の改正状況、並びに、具体的な取り組みである「議会報告会」の実施状況について研修するため、行政視察に来訪されました。

視察日：1月17日(金)

来訪者：南陽市議会議会運営委員会委員5名

対応者：山口徳議長

堀田正衛 議会運営委員会委員長

井川茂樹 議会運営委員会副委員長

場所：議員控室



### 山形県南陽市

山形県南陽市は、山形県の南東に位置する人口約3万3千人、面積160.70km<sup>2</sup>の市で、議員定数は17人です。

日本さくらの名所100選にも選ばれている烏帽子山公園や、昔話「鶴の恩返し」の伝説が伝わる地としても有名です。

# 傍聴者の声



市商工会  
事務局長  
荒原 求

銚田市議会をはじめ傍聴させて頂きました。執行部の方や議員の皆様が議場へ一礼して入場する姿は徐々に緊張感を漂わせる一幕でもありました。

議長の開会宣言。一般質問が始まり、質問に立った議員さんの大きな声が議場いっぱいに響き、まさに、執行部と議員が市民の健康・安全・安心を守るための真剣勝負の始まりでした。テレビで見ると国会中継とは違い、怒号やヤジなどない整然とした議会には驚きがありました。

今回、市議会を傍聴し、議員の皆様が熱心に市民生活の向上のため議論し、活躍している姿を拝見することができ、とても感銘を受けました。  
市民の皆様も、是非、一度銚田市議会を傍聴されてはいかがでしょうか。

## 6月定例会日程(予定)のお知らせ

月 日	会議内容
6月10日(火)	本会議 開会
6月12日(木)	一般質問
6月13日(金)	一般質問
6月16日(月)	委員会
6月17日(火)	委員会
6月18日(水)	委員会
6月20日(金)	本会議 閉会

※日程は変更になる場合があります。  
平成26年第1回(6月)定例会の延傍聴者数68名

## 掲載写真募集!!

あなたの写真を  
議会だぶりに掲載しませんか?  
詳しくは、議会事務局に  
お問い合わせ下さい。  
尚、編集の都合上、写真は  
縦長にてお願い致します。

## 編集後記

平成26年度一般会計予算は200億4000万円となり前年度に対して7.4%の増と合併以来最大規模の予算となりました。「復興から飛躍へ」を念頭に、「いのちとくらしの先進都市」の実現に向けた予算編成となっております。

しかしながら、歳出では民生費が前年度比8.1%増の65億2185万2000円と一般会計の約3割が福祉関連に充てられており、少子高齢化が急速に進んでいることを表しております。また、銚田市は歳入全体の7割程度が地方交付税をはじめとした国・県の補助金等に依存している状況です。

私たち議会議員も活発な議論を通して、銚田市の将来像を見定め、行政との連携を図るとともに、議会としてのチェック機能を果たし、市民の負託に応えてまいりたいと思っております。

(小沼俊秀 委員記)

- 委員長 倉川 陽好
- 副委員長 水上美智子
- 委員 出沼 丈夫
- 入江 晃
- 小沼 俊秀
- 高野 衛